

一関工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	美術
科目基礎情報						
科目番号	0019			科目区分	一般 / 必修	
授業形態	実技			単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	未来創造工学科（一般科目）			対象学年	2	
開設期	通年			週時間数	2	
教科書/教材	高校生の美術 1（日本文教出版）					
担当教員	及川 武芳					
到達目標						
創造的な作品制作を通して豊かな感性を育て、創造する喜びを味わうとともに、ものづくりのための探求心を養う。また、自己の意図、心情を表現するため、表現方法の基礎能力を養うと共に、鑑賞活動を通し、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。 【教育目標】 B						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)
評価項目1 創造性		豊かな創造性がある。		ある程度の創造性がある。		創造性がみられない。
評価項目2 感受性		豊かな感受性がある。		ある程度の感受性がある。		感受性がみられない。
学科の到達目標項目との関係						
教育目標 B						
教育方法等						
概要	創造的な作品制作を通して豊かな感性を育て、創造する喜びを味わうとともに、ものづくりのための忍耐を養う。また、自己の意図、心情を表現するため、表現方法の基礎能力を養う。鑑賞を通し作品の良さ、美しさを感じ、それぞれの個性を発見すると共に、芸術文化の理解を深める。					
授業の進め方・方法	美術の幅広い創造活動を通じ基礎的な造形力を養う。作品制作を主とし、基本的内容を踏まえ、より良い作品にするために繰り返し工夫する。毎時間の積み重ね、取り組みを大切にする。授業内での完成を目指し、未完成の作品がないよう努力させる。鑑賞の際は指定されたレポートを提出すること。					
注意点	授業の内容は課題毎ごとに授業内で告知する。道具の取り扱い方を理解し、準備、後片付け等、丁寧に行われていたか。 【事前学習】授業開始前に取り扱う画材や道具を準備しておく。 【評価方法・評価基準】課題 1 0 0 %（出席、授業態度含む）で評価する。詳細は課題ごとに授業で告知する。完成作品の提出状況、時間内にやるべきことをこなし、積み重ねていくことを評価する。授業内での完成を目指し、未完成の作品がないよう努力させる。総合成績 6 0 点以上を単位修得とする。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
選択必修						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	美術オリエンテーション デザイン		美術への興味関心を持ち、授業の流れや受け方、態度について理解できたか。	
		2週	デザイン①レタリング 下描き		レタリングの特性を理解し、文字を美しく下描きできたか。	
		3週	②レタリング 溝引き、彩色		溝引きの技術を理解し、美しく彩色できたか。	
		4週	③レタリング 仕上げ、鑑賞		丁寧に完成させ、自己評価や他者の作品の良さを感じ取ることができたか。	
		5週	絵画 鉛筆デッサン		デッサンの仕方を学び、その素晴らしさを理解すると共に、デッサンの基本を学ぶことができたか。	
		6週	①石膏デッサン		石膏像のとらえ方、見る位置を決め、大きく対象をとらえることができたか。	
		7週	②石膏デッサン		構図を理解し、バランスよく下描きできたか。ハッチングの方法を学び、活用できたか。	
		8週	③石膏デッサン		鉛筆の濃淡表現で石膏像の立体をとらえることができたか。	
	2ndQ	9週	④石膏デッサン		よく観察し、全体の調子を整え表現できたか。	
		10週	⑤石膏デッサン 完成、鑑賞		対象と空間を感じ表現し、完成させることができたか。自己評価できる。	
		11週	デザイン 商業デザイン		商業デザインを理解し、伝達デザインの基礎を理解できたか。	
		12週	①ラベルづくり 発想		商品のラベルを想定し、アイデアを構成できたか。	
		13週	②ラベルづくり 彩色		効果的な彩色ができたか。自己評価できる。	
		14週	鑑賞 課題設定		図書館等にて、美術につての疑問を課題として設定できたか。	
		15週	鑑賞 探求、まとめ		コンピュータ等を使い、調べ学習をし、課題解決のまとめができたか。	
		16週				
後期	3rdQ	1週	彫刻 ①抽象立体造形		素材（スタイロフォーム）の特性を理解し、彫刻の美しさや意図性を感じることができたか。	
		2週	②抽象立体造形 発想		テーマを設定し、抽象形中心の発想ができたか。	
		3週	③抽象立体造形 カービング		大まかなカービング作業ができたか。	
		4週	④抽象立体造形 カービング		構想にしたがった丁寧な制作ができたか。	

		5週	⑤抽象立体造形 完成、鑑賞	触覚を大事に完成させることができたか。自己と他の作品を鑑賞し、その良さを感じ取れたか。
		6週	絵画 アクリル絵具 ①自画像	自画像の表現方法を理解し、アクリル絵具の特性を生かし、構想することができたか。
		7週	②自画像 下絵	自分らしさを探求しながら、構図を決め、下絵制作を進めることができたか。
		8週	③自画像 下絵	細部までこだわり下絵を完成することができたか。
	4thQ	9週	④自画像 彩色	全体の調子を整えながら、軽く着色できたか。
		10週	⑤自画像 彩色	多くの彩色方法を理解し、効果的な自分らしい彩色ができたか。
		11週	⑥自画像 彩色	重ね塗りやぼかし技法など、意図に合った表現になるよう彩色できたか。
		12週	⑦自画像 完成、鑑賞	自画像制作を完成させることができたか。自己評価できる。
		13週	工芸 竹細工 ①竹とんぼ	工芸への関心を深められたか。道具の取り扱い方や素材の特性を理解できたか。
		14週	工芸 ②竹とんぼ	安全に注意し、制作を進めることができたか。
		15週	工芸 ③竹とんぼ まとめ	自己と他の作品を鑑賞し、それぞれの良さを感じ取れたか。これまでの1年間の学習を振りかえる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		制作（出席、態度含む）	作品（レポート含む）	合計	
総合評価割合		60	40	100	
評価割合		60	40	100	